

教員名	佐藤 敦子	所属学科	国際学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>自分が興味を持った「テーマ」について調査探求して掘り下げ、その分野ならば誰にも負けない「エキスパート」になる、というプロセスを学ぶ。各自の「テーマ研究」の集大成として卒業論文を作成してもらおう。「テーマ」設定は基本的に自由だが、担当教員が得意とする分野は「国際経営」「異文化マネジメント」「国際ビジネス研究」「国際マーケティング・マネジメント」であるため、ゼミではそういった領域について教員からインプットを受けることが多くなるであろう。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>2年次の基礎演習：「国際経営」に関する文献、雑誌記事、論文の輪読、討論が中心となるが、同時に「自分は大学時代に“これ”を学んだ」と言える「テーマ」探しを行う。</p> <p>3年次の演習I：2年次よりも更に専門的な文献や論文（英文を想定）を対象に、輪読と討論、グループ・ワークを行う。「国際経営」分野に加えて、各ゼミ生の「テーマ」分野に関連するものも取り上げていく。研究成果については、学内外での発表の機会を持つことを想定している。</p> <p>4年次の演習II：各自の「テーマ研究」の集大成である卒業論文の作成に向けて、それぞれ個人が自分のテーマに即したリサーチを行って発表を行い、ゼミで議論し合っ内容をも深めていく。12月中旬に卒業論文を完成させ、年明けには卒論発表会を行う。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>自分の興味のある「テーマ」について、思う存分掘り下げて、その分野での超「オタク」になってくれることを期待しています。その「テーマ」自体が、何の役に立つか、ということは二の次です。大学で学んだ「こと」、つまり具体的な知識が、社会人になって役に立つことは、実はあまり多くないかもしれません。しかし、自分で物事を掘り下げていくプロセスを体験し、そこで体得する自分なりの「深掘の方法論」は、大学卒業後に就職して企業や官庁で仕事をする上で、きっと役に立つと思います。職場において「これは誰にも負けない」分野を持つことが、その職場で欠くべからざる人財となる近道だからです。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>Meyer, E. (2015) <i>"The Culture Map"</i> (エリン・メイヤー『異文化理解力』(英治出版)  吉原英樹、等編著(2013)『ケースに学ぶ国際経営』(有斐閣ブックス) など</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>「ゼミ」学習を通じて「自分のテーマにおける超オタクなエキスパート」になれるかは、夢中になれる「テーマ」を見つけられるかどうかにかかっています。現在の自分の知っている事柄からのみ「テーマ」を選ぶのではなく、アンテナを幅広く張って世界に目を向けて、未来を見据えて、自分の「テーマ」を探してみましょう。きっかけとなるようなインプットを沢山提供出来るよう、様々な材料を用意してお待ちしています。</p>			